

SONY

# 2024年度 第2四半期 連結業績概要

(2024年9月30日に終了した3カ月間)

2024年11月8日

ソニーグループ株式会社

2024年度 2Q 連結業績

	金融分野を除く連結ベース			ソニー連結			(億円)
	FY23.2Q	FY24.2Q	前年同期比	FY23.2Q	FY24.2Q	前年同期比	
売上高*1	27,289	29,734	+2,445 (+9%)	28,286	29,056	+770 (+3%)	
営業利益	2,473	3,893	+1,420 (+57%)	2,630	4,551	+1,921 (+73%)	
営業利益率	9.1%	13.1%	+4.0 pts	9.3%	15.7%	+6.4 pts	
税引前利益	2,419	3,845	+1,426 (+59%)	2,576	4,502	+1,927 (+75%)	
当社株主に帰属する四半期純利益	1,894	2,919	+1,025 (+54%)	2,001	3,385	+1,384 (+69%)	
普通株式1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益（希薄化後）*2	30.62円	48.06円	+17.44 円	32.35円	55.74円	+23.39 円	
調整後OIBDA*3	4,033	5,542	+1,509 (+37%)	4,259	6,267	+2,008 (+47%)	
調整後EBITDA*3	4,037	5,347	+1,310 (+32%)	4,264	6,072	+1,809 (+42%)	
平均為替レート							
1米ドル	144.4円	149.5円					
1ユーロ	157.2円	164.1円					

調整後OIBDA、調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値は国際財務報告基準（以下「IFRS」）に則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。  
調整後OIBDA及び調整後EBITDAの算式及び調整を含む詳細についてはP.23-29を参照（次頁以降も同じ）。

\*1 IFRSにおける「売上高及び金融ビジネス収入」を「売上高」として表示しています（次頁以降も同じ）。

\*2 ソニーは、2024年9月30日を基準日、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。上記の普通株式1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益（希薄化後）は、FY23の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています（次頁以降も同じ）。

\*3 連結ベースの調整後EBITDAと調整後OIBDAの差額は、金融収益及び金融費用（支払利息（純額）及び資本性金融商品の再評価益（純額）を除く）です。ソニーは、金融分野を除き、グローバルで集中的な為替変動リスク管理を行っていることなどにより、金融収益及び金融費用を分野別の業績評価に含めていないため、分野別の調整後EBITDAは計算・開示していません（次頁以降も同じ）。

2024年度 2Q 連結業績 前年同期比 主な変動要因

	前年同期比	主な変動要因 (+) 改善要因、(-) 悪化要因
売上高	+770 億円 +3 %	(+) I&SS分野、G&NS分野の大幅増収 (+) 音楽分野、ET&S分野の増収 (-) 金融分野、映画分野の大幅減収  前年同期の為替レートを適用した場合*、約1%減収
営業利益	+1,921 億円 +73 %	(+) G&NS分野、金融分野、I&SS分野の大幅増益 (+) 音楽分野、ET&S分野の増益 (-) 映画分野の大幅減益
法人所得税	+540 億円 〔実効税率 22%→25%〕	(-) 主に税額控除率の低下などにともなう日本の税率上昇による影響
調整後OIBDA	+2,008 億円 +47 %	(+) G&NS分野、I&SS分野、金融分野の大幅増益 (+) 音楽分野、ET&S分野の増益
調整後EBITDA	+1,809 億円 +42 %	(-) 映画分野の大幅減益

調整後OIBDA及び調整後EBITDAはIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

\* 為替変動による売上高及び営業損益への影響についてはP.29を参照（次頁以降も同じ）。

調整後利益<sup>※1</sup>（2Q・金融分野を除く連結ベース）

(億円)

	FY23.2Q			FY24.2Q			前年同期比	
	調整前	非経常的な損(益) <sup>※2</sup>	調整後	調整前	非経常的な損(益) <sup>※2</sup>	調整後	調整前	調整後
営業利益	2,473	—	2,473	3,893	—	3,893	+1,420 (+57%)	+1,420 (+57%)
税引前利益	2,419	—	2,419	3,845	—	3,845	+1,426 (+59%)	+1,426 (+59%)
法人所得税	516 〔実効税率 21%〕	—	516 〔実効税率 21%〕	913 〔実効税率 24%〕	—	913 〔実効税率 24%〕	+397 (+77%)	+397 (+77%)
当社株主に帰属する 四半期純利益	1,894	—	1,894	2,919	—	2,919	+1,025 (+54%)	+1,025 (+54%)

調整後利益及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 調整後利益は、非経常的な損益を含まない。

※2 金融分野を除く連結ベースの非経常的な損益の詳細についてはP.4を参照（次頁以降も同じ）。

# 非経常的な損益（金融分野を除く連結ベース）

(億円)

	FY23 2Q	FY23 1H	FY23		FY24 2Q	FY24 1H
営業利益（調整前）に含まれる項目	－	+60	+60	営業利益（調整前）に含まれる項目	－	－
従来持分法で会計処理されていた会社の連結子会社化による再評価益（音楽分野・1Q）	－	+60	+60			
金融収益・費用に含まれる項目	－	－	－	金融収益・費用に含まれる項目	－	－
税引前利益（調整前）に含まれる項目	－	+60	+60	税引前利益（調整前）に含まれる項目	－	－
法人所得税（調整前）に含まれる項目	－	+11	△63	法人所得税（調整前）に含まれる項目	－	－
上記項目に関わる税効果	－	+11	+13			
子会社の解散にともなう税金費用の減少（3Q）	－	－	△76			
非支配持分に帰属する当期純利益に含まれる項目	－	－	－	非支配持分に帰属する当期純利益に含まれる項目	－	－
当社株主に帰属する当期純利益（調整前）に含まれる項目	－	+49	+123	当社株主に帰属する当期純利益（調整前）に含まれる項目	－	－

金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、この開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

調整後利益<sup>※1</sup>（2Q・ソニー連結）

(億円)

	FY23.2Q			FY24.2Q			前年同期比	
	調整前	非経常的な損(益) <sup>※2</sup>	調整後	調整前	非経常的な損(益) <sup>※2</sup>	調整後	調整前	調整後
営業利益	2,630	—	2,630	4,551	—	4,551	+1,921 (+73%)	+1,921 (+73%)
税引前利益	2,576	—	2,576	4,502	—	4,502	+1,927 (+75%)	+1,927 (+75%)
法人所得税	564 〔実効税率 22%〕	—	564 〔実効税率 22%〕	1,104 〔実効税率 25%〕	—	1,104 〔実効税率 25%〕	+540 (+96%)	+540 (+96%)
当社株主に帰属する 四半期純利益	2,001	—	2,001	3,385	—	3,385	+1,384 (+69%)	+1,384 (+69%)

調整後利益はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、この開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 調整後利益は、非経常的な損益を含まない。

※2 ソニー連結の非経常的な損益の詳細についてはP.6を参照（次頁以降も同じ）。

# 非経常的な損益（ソニー連結）

（億円）

	FY23 2Q	FY23 1H	FY23		FY24 2Q	FY24 1H
営業利益（調整前）に含まれる項目	-	+60	+258	営業利益（調整前）に含まれる項目	-	-
従来持分法で会計処理されていた会社の連結子会社化による再評価益（音楽分野・1Q）	-	+60	+60			
ソニーペイメントサービス(株)株式の一部譲渡にともなう売却益及び再評価益（金融分野・4Q）	-	-	+198			
金融収益・費用に含まれる項目	-	-	-	金融収益・費用に含まれる項目	-	-
税引前利益（調整前）に含まれる項目	-	+60	+258	税引前利益（調整前）に含まれる項目	-	-
法人所得税（調整前）に含まれる項目	-	+13	△16	法人所得税（調整前）に含まれる項目	-	-
上記項目に関わる税効果	-	+13	+60			
子会社の解散にともなう税金費用の減少（3Q）	-	-	△76			
非支配持分に帰属する当期純利益に含まれる項目	-	-	-	非支配持分に帰属する当期純利益に含まれる項目	-	-
当社株主に帰属する当期純利益（調整前）に含まれる項目	-	+47	+274	当社株主に帰属する当期純利益（調整前）に含まれる項目	-	-

# 2024年度 2Q セグメント別業績

(億円)

		FY23.2Q	FY24.2Q	前年同期比	為替影響
ゲーム& ネットワークサービス (G&NS)	売上高	9,541	10,715	+1,174	+332
	営業利益	489	1,388	+899	+43
音楽	売上高	4,087	4,482	+395	+107
	営業利益	810	904	+94	
映画	売上高	3,996	3,558	△438	+110
	営業利益	294	185	△110	
エンタテインメント・テクノロジー&サービス (ET&S)	売上高	6,135	6,198	+62	+150
	営業利益	610	702	+91	+35
イメージング& センシング・ソリューション (I&SS)	売上高	4,063	5,356	+1,293	+297
	営業利益	464	924	+461	+229
その他	売上高	242	239	△3	
	営業利益	21	△65	△86	
全社（共通）及び セグメント間取引消去	売上高	△818	△858	△40	
	営業利益	△215	△144	+70	
金融分野を除く連結ベース*	売上高	27,289	29,734	+2,445	
	営業利益	2,473	3,893	+1,420	
金融*	金融ビジネス収入	1,039	△633	△1,672	
	営業利益	157	657	+501	
連結*	売上高	28,286	29,056	+770	
	営業利益	2,630	4,551	+1,921	

各分野の売上高はセグメント間取引消去前のものであり、また各分野の営業利益はセグメント間取引消去前のもので配賦不能費用は含まれません（次頁以降も同じ）。

金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

\* 金融分野と金融分野を除く連結ベースには両者間の取引を含んでおり、これらの相殺消去を反映した後のものが連結の数値です。また、上記の表では当該相殺消去は全額、全社（共通）及びセグメント間取引消去に含まれており、金融分野を除く連結ベースの数値は金融分野以外の各分野の数値の単純合算とは一致しません（次頁以降も同じ）。



# 2024年度 1H 連結業績

	金融分野を除く連結ベース			ソニー連結			(億円)
	FY23.1H	FY24.1H	前年同期比	FY23.1H	FY24.1H	前年同期比	
売上高	50,147	55,409	+5,262 (+10%)	57,923	59,172	+1,250 (+2%)	
営業利益	4,459	6,385	+1,926 (+43%)	5,161	7,342	+2,181 (+42%)	
営業利益率	8.9%	11.5%	+2.6 pts	8.9%	12.4%	+3.5 pts	
税引前利益	5,135	6,714	+1,579 (+31%)	5,336	7,671	+2,335 (+44%)	
当社株主に帰属する中間純利益	4,185	5,019	+834 (+20%)	4,177	5,701	+1,525 (+37%)	
普通株式1株当たり当社株主に 帰属する中間純利益（希薄化後）	67.62円	82.34円	+14.72 円	67.48円	93.53円	+26.05 円	
調整後OIBDA	7,379	9,721	+2,341 (+32%)	8,220	10,814	+2,594 (+32%)	
調整後EBITDA	7,985	9,591	+1,606 (+20%)	8,326	10,685	+2,359 (+28%)	
平均為替レート							
1米ドル	140.7円	152.6円					
1ユーロ	153.2円	165.8円					

調整後OIBDA、調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

調整後利益※（1H・金融分野を除く連結ベース）

(億円)

	FY23.1H			FY24.1H			前年同期比	
	調整前	非経常的な損(益)	調整後	調整前	非経常的な損(益)	調整後	調整前	調整後
営業利益	4,459	△60	4,399	6,385	－	6,385	+1,926 (+43%)	+1,986 (+45%)
税引前利益	5,135	△60	5,075	6,714	－	6,714	+1,579 (+31%)	+1,639 (+32%)
法人所得税	938 〔実効税率 18%〕	△11	927 〔実効税率 18%〕	1,640 〔実効税率 24%〕	－	1,640 〔実効税率 24%〕	+702 (+75%)	+713 (+77%)
当社株主に帰属する 中間純利益	4,185	△49	4,136	5,019	－	5,019	+834 (+20%)	+883 (+21%)

調整後利益及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。  
※ 調整後利益は、非経常的な損益を含まない。

調整後利益※（1H・ソニー連結）

(億円)

	FY23.1H			FY24.1H			前年同期比	
	調整前	非経常的な損(益)	調整後	調整前	非経常的な損(益)	調整後	調整前	調整後
営業利益	5,161	△60	5,100	7,342	－	7,342	+2,181 (+42%)	+2,241 (+44%)
税引前利益	5,336	△60	5,276	7,671	－	7,671	+2,335 (+44%)	+2,395 (+45%)
法人所得税	1,145 〔実効税率 22%〕	△13	1,132 〔実効税率 22%〕	1,915 〔実効税率 25%〕	－	1,915 〔実効税率 25%〕	+769 (+67%)	+782 (+69%)
当社株主に帰属する 中間純利益	4,177	△47	4,129	5,701	－	5,701	+1,525 (+37%)	+1,572 (+38%)

調整後利益はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、この開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。  
※ 調整後利益は、非経常的な損益を含まない。

# 2024年度 1H セグメント別業績

(億円)

		FY23.1H	FY24.1H	前年同期比	為替影響
ゲーム& ネットワークサービス (G&NS)	売上高	17,260	19,364	+2,105	+1,187
	営業利益	981	2,041	+1,060	+57
音楽	売上高	7,669	8,902	+1,233	+537
	営業利益	1,544	1,763	+219	
映画	売上高	7,200	6,931	△269	+512
	営業利益	454	298	△156	
エンタテインメント・テクノロジー & サービス (ET&S)	売上高	11,853	12,207	+354	+617
	営業利益	1,167	1,342	+176	+136
イメージング & センシング・ソリューション (I&SS)	売上高	6,991	8,890	+1,900	+666
	営業利益	591	1,291	+700	+443
その他	売上高	437	450	+13	
	営業利益	45	△52	△98	
全社（共通）及び セグメント間取引消去	売上高	△1,341	△1,425	△85	
	営業利益	△323	△297	+26	
金融分野を除く連結ベース	売上高	50,147	55,409	+5,262	
	営業利益	4,459	6,385	+1,926	
金融	金融ビジネス収入	7,853	3,853	△4,000	
	営業利益	702	957	+255	
連結	売上高	57,923	59,172	+1,250	
	営業利益	5,161	7,342	+2,181	

金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

2024年度 連結業績見通し

	金融分野を除く連結ベース				ソニー連結				(億円)										
	FY23	FY24見通し			FY23	FY24見通し													
		8月時点	11月時点	8月時点比		8月時点	11月時点	8月時点比											
売上高	112,650	117,000	118,000	+1,000 (+1%)	130,208	126,100	127,100	+1,000 (+1%)											
営業利益	10,353	11,650	11,650	－	12,088	13,100	13,100	－											
営業利益率	9.2%	9.9%	9.9%	△0.0 pts	9.3%	10.4%	10.3%	△0.1 pts											
税引前利益	11,451	11,900	11,900	－	12,687	13,350	13,350	－											
当社株主に帰属する当期純利益	8,966	8,750	8,750	－	9,706	9,800	9,800	－											
調整後OIBDA	16,446	18,200	18,250	+50 (+0%)	18,261	19,900	19,950	+50 (+0%)											
調整後EBITDA	16,865	18,200	18,250	+50 (+0%)	18,180	19,900	19,950	+50 (+0%)											
営業キャッシュ・フロー	11,778	14,000	14,400	+400 (+3%)	<div>1株当たり配当金</div> <table><tr><th>中間</th><th>期末 (予定)※</th><th>年間 (予定)※</th><th>前年度比</th></tr><tr><td rowspan="2">50 円</td><td>株式分割後 10 円</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>株式分割前 50 円</td><td>100 円</td><td>+15 円</td></tr></table>				中間	期末 (予定)※	年間 (予定)※	前年度比	50 円	株式分割後 10 円	－	－	株式分割前 50 円	100 円	+15 円
中間	期末 (予定)※	年間 (予定)※	前年度比																
50 円	株式分割後 10 円	－	－																
	株式分割前 50 円	100 円	+15 円																
為替レート	FY23 (実績・平均)	FY24 (前提)																	
		2Q-4Q	3Q-4Q																
1米ドル	144.4円	148円前後	146円前後																
1ユーロ	156.6円	160円前後	160円前後																

調整後OIBDA、調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。  
※ ソニーは、2024年9月30日を基準日、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っています。上記の1株当たり期末配当金（予定）は株式分割考慮前後の金額をそれぞれ記載しています。株式分割考慮後の1株当たり年間配当金合計（予定）は、株式分割の影響により、中間配当金と期末配当金との単純合算ができないため記載していません。

# 2024年度 連結業績見通し 8月時点比 主な変動要因

	8月時点比	主な変動要因 (+) 改善要因、(-) 悪化要因
売上高	+1,000 億円 +1 %	(+) G&NS分野の売上高見通しの上方修正 (-) I&SS分野、映画分野の売上高見通しの下方修正
営業利益	-	(+) G&NS分野の営業利益見通しの上方修正 (-) I&SS分野、映画分野の営業利益見通しの下方修正
税引前利益	-	-
当社株主に帰属する 当期純利益	-	-
調整後OIBDA	+50 億円 +0 %	(+) G&NS分野の調整後OIBDA見通しの上方修正
調整後EBITDA	+50 億円 +0 %	(-) I&SS分野、映画分野の調整後OIBDA見通しの下方修正

調整後OIBDA及び調整後EBITDAはIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

# 2024年度 セグメント別業績見通し

(億円)

		FY23	8月時点 FY24見通し	11月時点 FY24見通し	8月時点比増減
ゲーム& ネットワークサービス (G&NS)	売上高	42,677	43,200	44,900	+1,700
	営業利益	2,902	3,200	3,550	+350
音楽	売上高	16,190	17,400	17,400	－
	営業利益	3,017	3,300	3,300	－
映画	売上高	14,931	15,200	15,100	△100
	営業利益	1,177	1,250	1,150	△100
エンタテインメント・テクノロジー & サービス (ET&S)	売上高	24,537	24,200	24,200	－
	営業利益	1,874	1,900	1,900	－
イメージング & センシング・ソリューション (I&SS)	売上高	16,027	18,500	17,700	△800
	営業利益	1,935	2,750	2,500	△250
その他、全社（共通）及び セグメント間取引消去		営業利益	△552	△750	－
金融分野を除く連結ベース	売上高	112,650	117,000	118,000	+1,000
	営業利益	10,353	11,650	11,650	－
金融	金融ビジネス収入	17,700	9,100	9,100	－
	営業利益	1,736	1,450	1,450	－
連結	売上高	130,208	126,100	127,100	+1,000
	営業利益	12,088	13,100	13,100	－

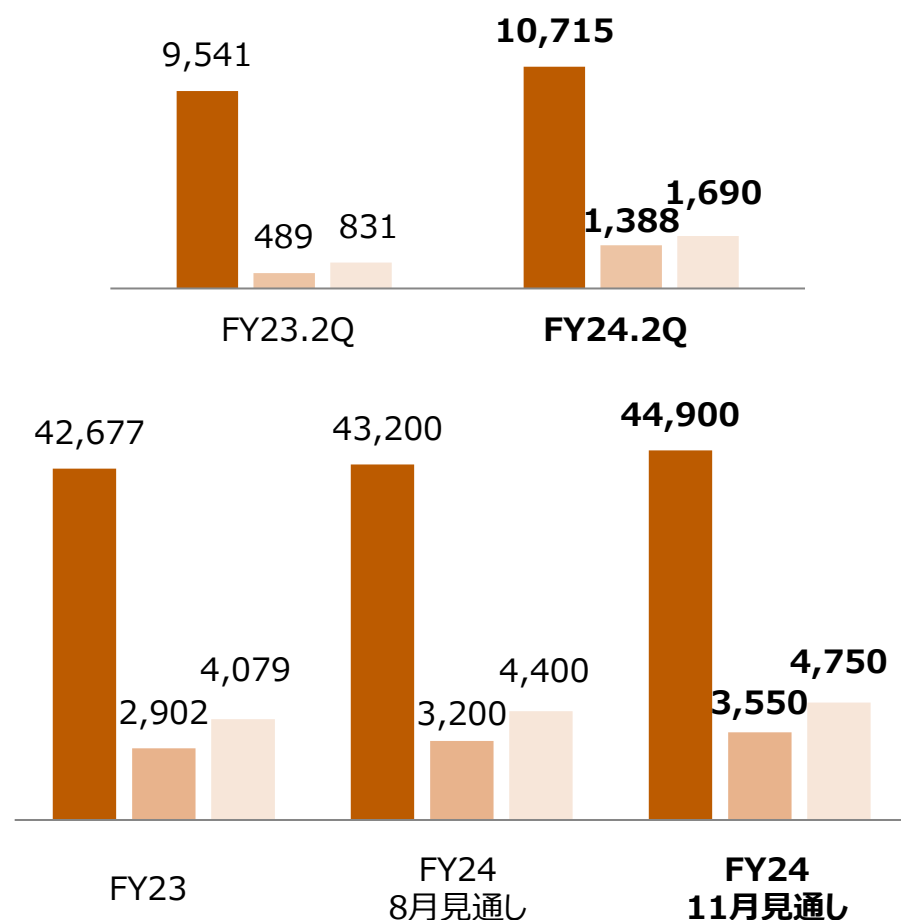
金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

# ゲーム&ネットワークサービス分野（G&NS分野）

## 売上高、営業利益及び調整後OIBDA

■ 売上高  
■ 営業利益  
■ 調整後OIBDA

(億円)



## 2024年度第2四半期（前年同期比）

- 売上高 1,174億円（12%）大幅増収（為替影響：+332億円）
  - ・（+）アドオンコンテンツを含む自社制作以外のゲームソフトウェア販売増加
  - ・（+）為替の影響
  - ・（+）プレイステーション®プラスを中心としたネットワークサービスの増収
  - ・（-）販売台数減少によるハードウェアの減収
- 営業利益 899億円（184%）大幅増益（為替影響：+43億円）  
/ 調整後OIBDA 859億円（103%）大幅増益
  - ・（+）ハードウェアの収益性改善
  - ・（+）自社制作以外のゲームソフトウェア販売増加の影響
  - ・（+）ネットワークサービスの増収の影響

## 2024年度見通し（8月時点比）

- 売上高 1,700億円（4%）上方修正
  - ・（+）自社制作以外のゲームソフトウェア販売増加
- 営業利益 350億円（11%）上方修正  
/ 調整後OIBDA 350億円（8%）上方修正
  - ・（+）ハードウェアの収益性改善
  - ・（+）自社制作以外のゲームソフトウェア販売増加の影響
  - ・（-）自社制作のゲームソフトウェア販売減少の影響

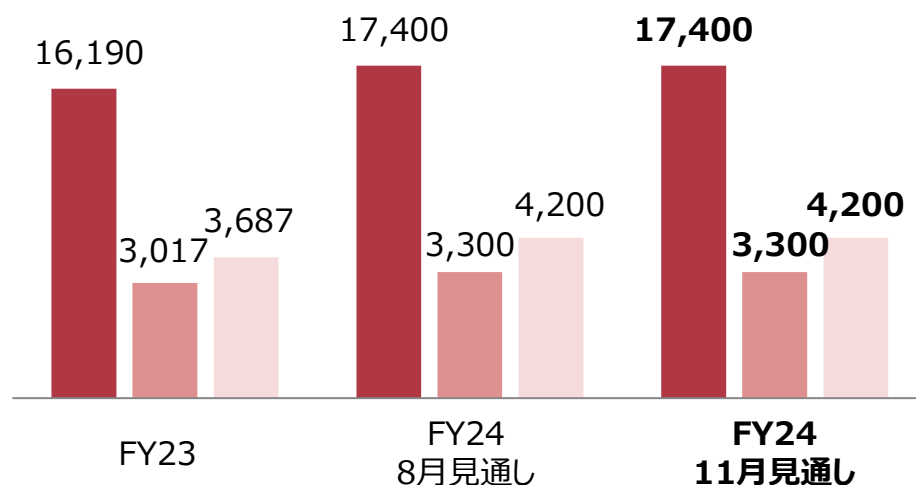
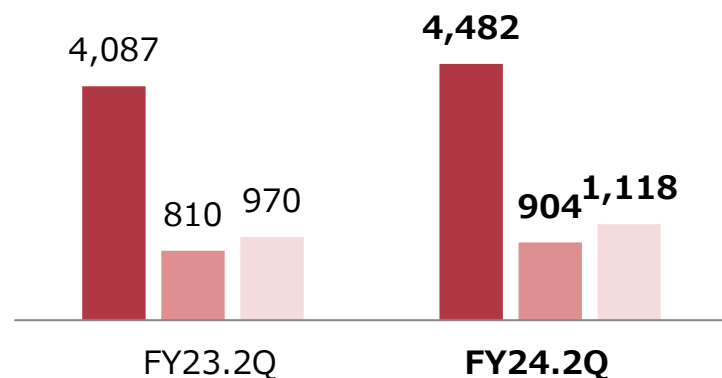


# 音楽分野

## 売上高、営業利益及び調整後OIBDA

■ 売上高  
■ 営業利益  
■ 調整後OIBDA

(億円)



## 2024年度第2四半期 (前年同期比)

- 売上高 395億円 (10%) 増収 (為替影響: +107億円)
  - ・ (+) 音楽制作における興行・物販及びライセンスからの収入増加
  - ・ (+) 音楽制作及び音楽出版におけるストリーミングサービスからの収入増加
  - ・ (+) 為替の影響
- 営業利益 94億円 (12%) 増益 / 調整後OIBDA 147億円 (15%) 増益
  - ・ (+) 音楽制作及び音楽出版における増収の影響
  - ・ (+) ㈱イープラスの連結子会社化による既存持分の再評価益の計上
  - ・ (-) 販売費及び一般管理費の増加

## 2024年度見通し (8月時点比)

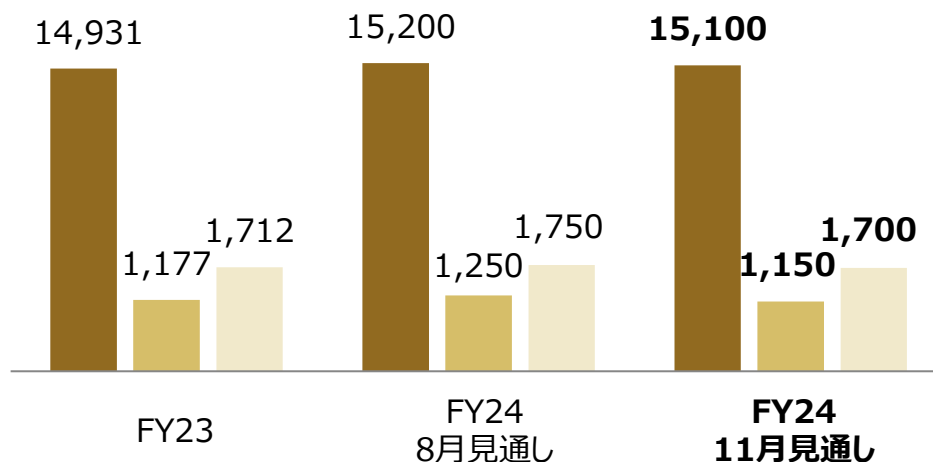
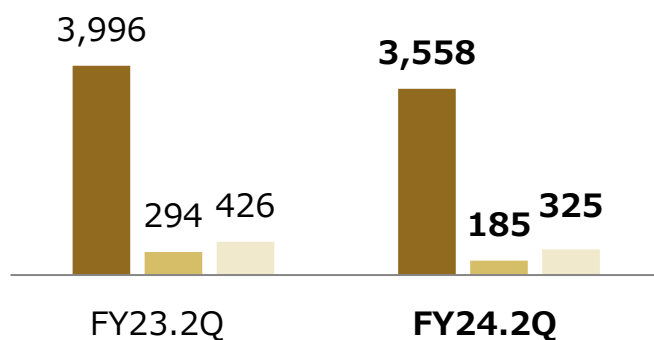
- 売上高 8月時点から変更なし
- 営業利益 / 調整後OIBDA 8月時点から変更なし

# 映画分野

## 売上高、営業利益及び調整後OIBDA

■ 売上高  
■ 営業利益  
■ 調整後OIBDA

(億円)



## 2024年度第2四半期（前年同期比）

以下の要因分析は米ドルベース

- 売上高 438億円（11%）大幅減収 米ドルベース：△382百万米ドル（△14%）
  - ・（－）FY23のハリウッドのストライキによる作品制作の遅れなどによるテレビ番組制作の納入作品数の減少
  - ・（＋）有料会員数増加等によるCrunchyrollの増収
  - ・（＋）Alamo Drafthouse Cinemaの買収の影響
- 営業利益 110億円（37%）大幅減益 米ドルベース：△81百万米ドル（△39%）  
 / 調整後OIBDA 100億円（24%）大幅減益  
 米ドルベース：△78百万米ドル（△26%）
  - ・（－）減収の影響
  - ・（－）メディアネットワークにおけるインド事業の番組関連費用及び広告宣伝費の増加

## 2024年度見通し（8月時点比）

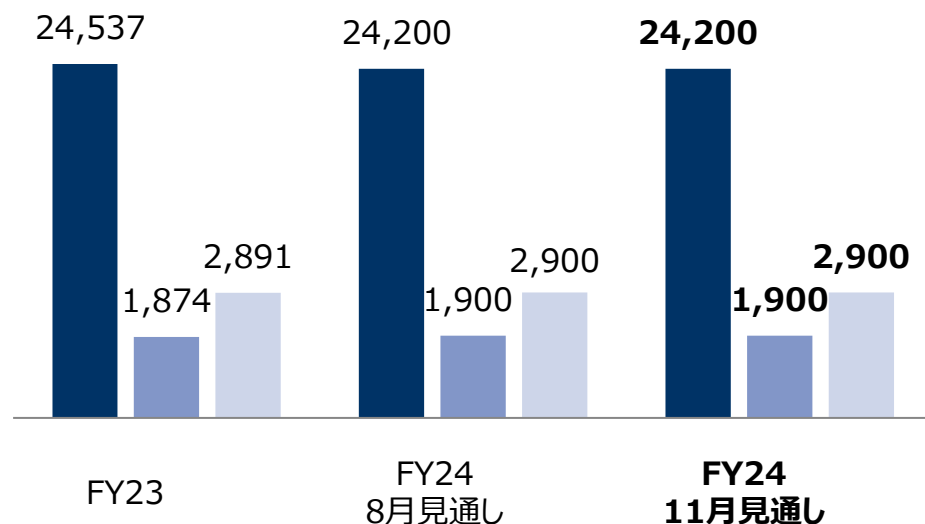
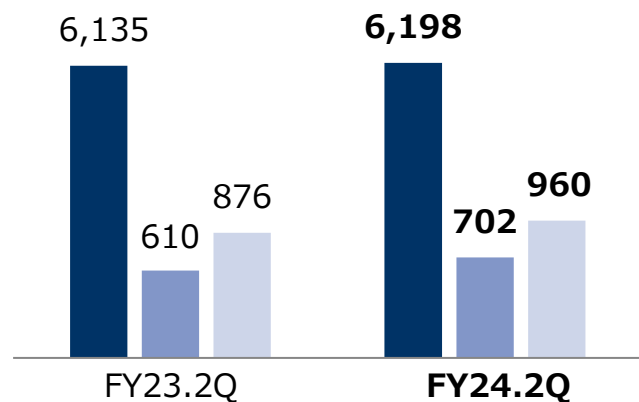
- 売上高 100億円（1%）下方修正
  - ・（－）為替の影響
- 営業利益 100億円（8%）下方修正 / 調整後OIBDA 50億円（3%）下方修正
  - ・（－）メディアネットワークにおけるインド事業の広告料収入減少の影響

# エンタテインメント・テクノロジー & サービス分野（ET&S分野）

## 売上高、営業利益及び調整後OIBDA

■ 売上高  
■ 営業利益  
■ 調整後OIBDA

(億円)



## 2024年度第2四半期（前年同期比）

- 売上高 62億円（1%）増収（為替影響：+150億円）  
・（+）為替の影響
- 営業利益 91億円（15%）増益（為替影響：+35億円）  
/ 調整後OIBDA 84億円（10%）増益  
・（+）為替の好影響  
・（+）オペレーション費用の削減

## 2024年度見通し（8月時点比）

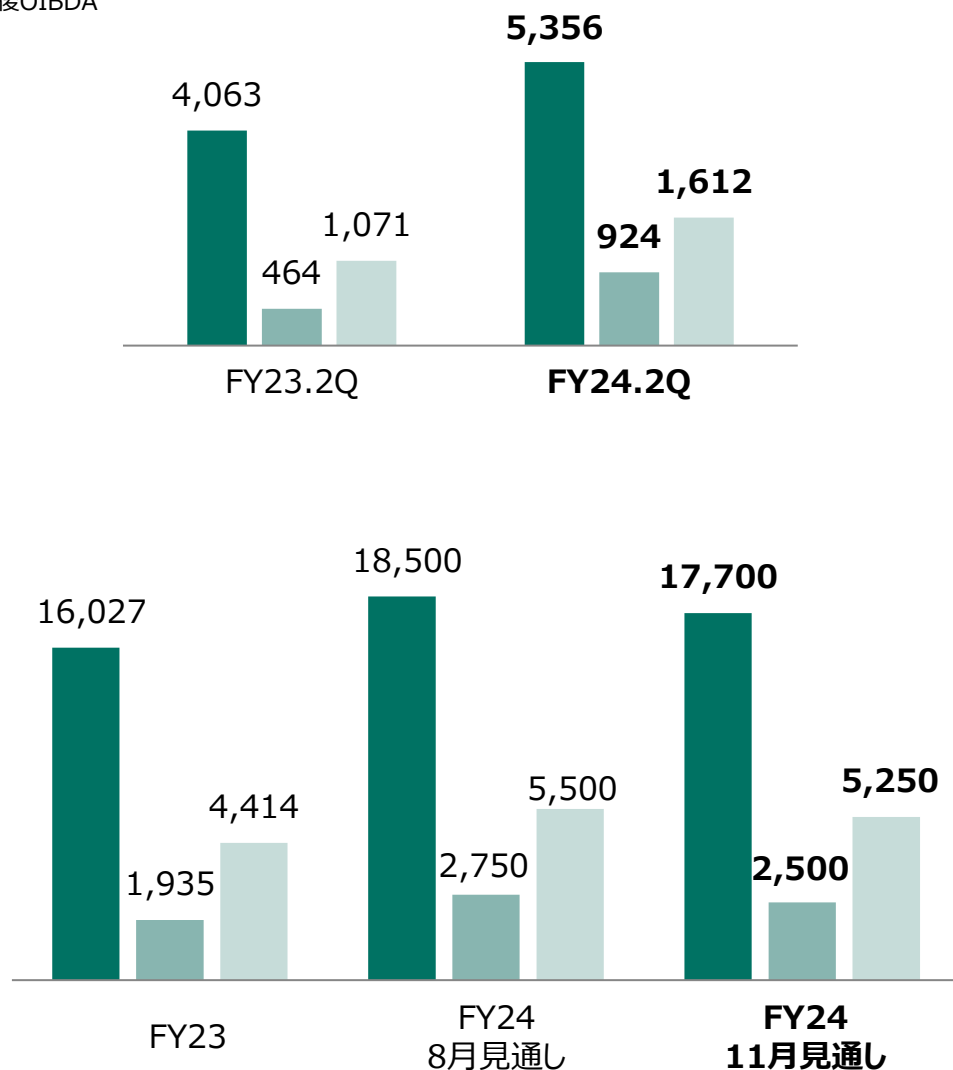
- 売上高 8月時点から変更なし
- 営業利益 / 調整後OIBDA 8月時点から変更なし

# イメージング&センシング・ソリューション分野（I&SS分野）

## 売上高、営業利益及び調整後OIBDA

(億円)

- 売上高
- 営業利益
- 調整後OIBDA



## 2024年度第2四半期（前年同期比）

- 売上高 1,293億円（32%）大幅増収（為替影響：+297億円）
  - ・（+）モバイル機器向けイメージセンサーの増収
  - ・（+）販売数量の増加
  - ・（+）製品ミックスの改善
  - ・（+）為替の影響
- 営業利益 461億円（99%）大幅増益（為替影響：+229億円）  
/ 調整後OIBDA 541億円（50%）大幅増益
  - ・（+）増収の影響
  - ・（+）為替の好影響
  - ・（+）モバイル機器向けイメージセンサーの新製品量産立上げにおける費用の減少
  - ・（-）製造経費の増加
  - ・（-）減価償却費の増加\*

## 2024年度見通し（8月時点比）

- 売上高 800億円（4%）下方修正
  - ・（-）モバイル機器向けイメージセンサーの販売数量の減少
- 営業利益 250億円（9%）下方修正 / 調整後OIBDA 250億円（5%）下方修正
  - ・（-）減収の影響

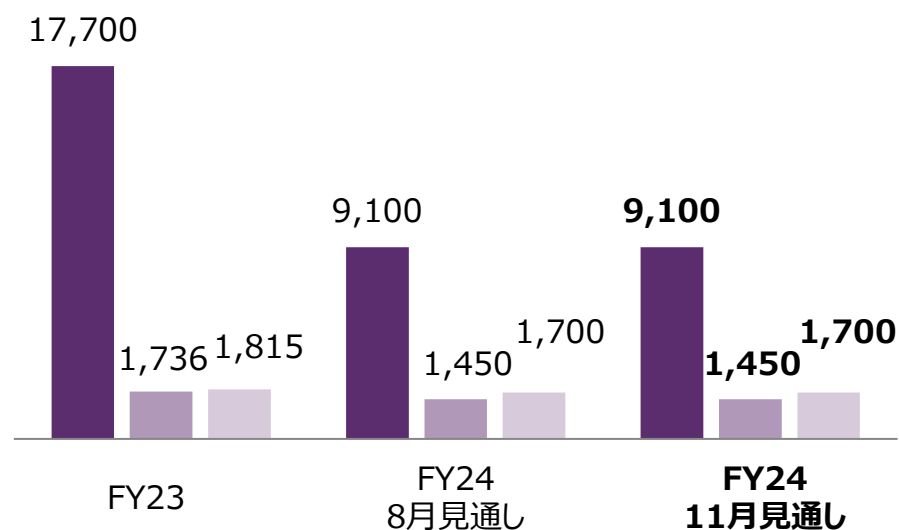
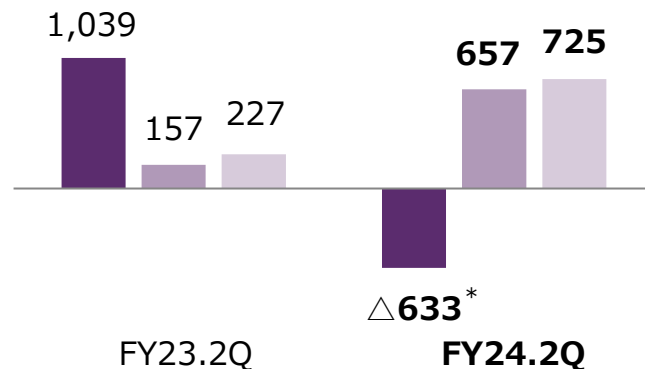
\* 営業利益のみの増減要因で調整後OIBDAの増減要因には含まれない。

# 金融分野

## 金融ビジネス収入、営業利益及び調整後OIBDA

(億円)

- 金融ビジネス収入
- 営業利益
- 調整後OIBDA



### 2024年度第2四半期（前年同期比）

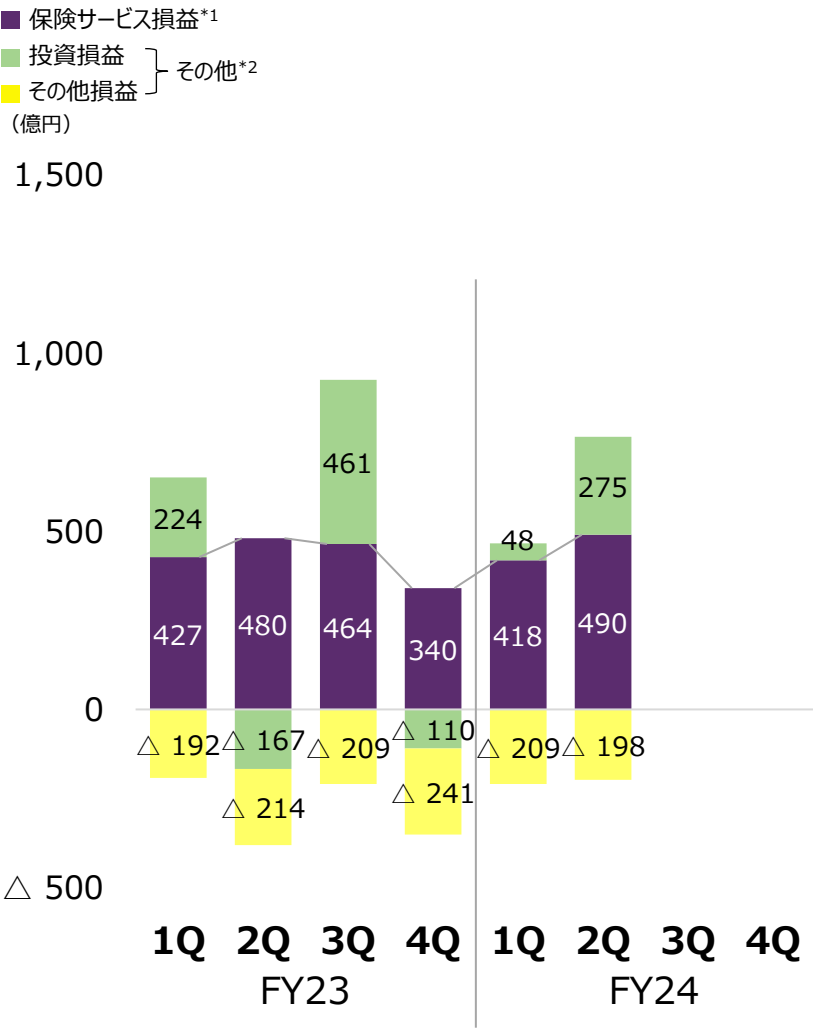
- 金融ビジネス収入 1,672億円 大幅減収
  - ・（－）ソニー生命の大幅減収（ $\Delta 1,756$ 億円、収入： $\Delta 1,328$ 億円）
  - ・（－）市況変動による一般勘定及び特別勘定における資産運用損の拡大
  - ・（－）為替変動の影響
- 営業利益 501億円（319%）大幅増益 / 調整後OIBDA 499億円（220%）大幅増益
  - ・（＋）ソニー生命の大幅増益（469億円、営業利益：567億円）
  - ・（＋）変額保険等の最低保証に係る市況変動による損益の改善
  - ・（＋）金利変動の影響

### 2024年度見通し（8月時点比）

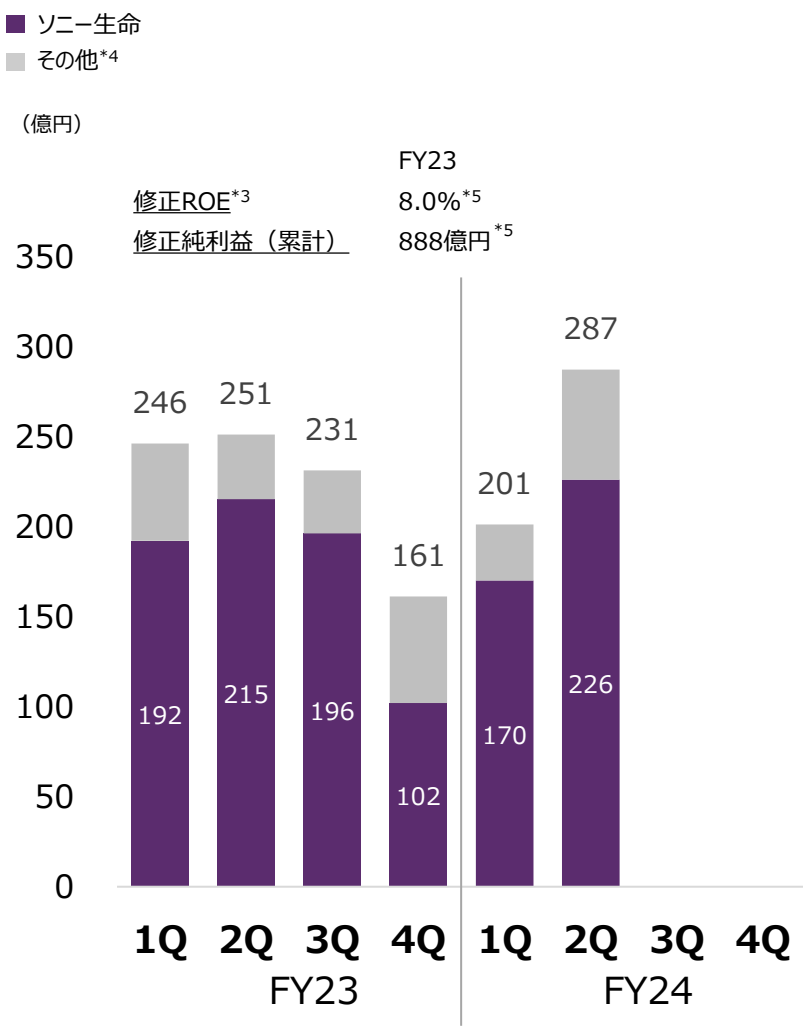
- 金融ビジネス収入 8月時点から変更なし
  - ・（－）ソニー生命における市況変動による資産運用益の減少
  - ・（＋）市況変動の不確実性
- 営業利益 / 調整後OIBDA 8月時点から変更なし
  - ・（＋）ソニー生命における変額保険等の最低保証に係る市況変動による利益の増加
  - ・（－）市況変動の不確実性

※FY24.2Qに大幅に進行した円高により、ソニー生命における外貨建保険の運用資産の円ベースでの評価が大幅に減少したことによる減収。一方で、負債の評価額も同様に減少していることから、損益への影響は限定的。

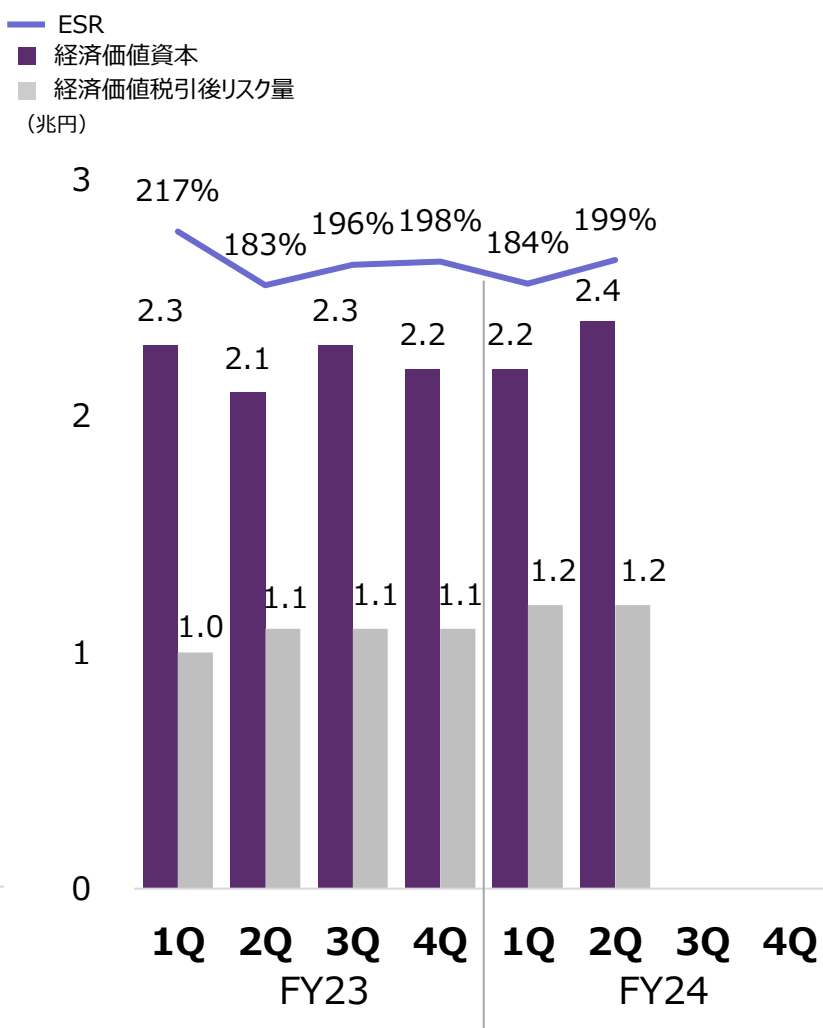
ソニー生命の営業利益内訳



修正純利益\*3



グループ連結ESR\*6



\*1 保険サービス損益 = 保険収益 - 保険サービス費用  
\*2 その他 = その他の金融ビジネス収入 - 保険金融費用 (収益) - その他の金融ビジネス費用。「その他」は、「連結業績補足説明資料」におけるInvestment result (投資損益) と Other result (その他損益) の合計と一致する。  
\*3 修正ROEは、修正純利益を四半期平均純資産 (期首純資産と各四半期末純資産の合計値を5で除した数値) で除して算出しています。修正純利益及び修正ROEはIFRS及びソニー・フィナンシャルグループ(株) (以下SFGI) と、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行の業績 (連結・単体) の準拠する日本の会計基準に則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。  
\*4 「その他」には、ソニー損保、ソニー銀行、ソニー・ライフケア及び連結調整を含む。  
\*5 FY24 1Qより修正純利益及び修正ROEの調整項目に係る税率の計算方法を変更しており、2024年5月31日開催の事業説明会資料にて開示したFY23の数値を同様の計算方法にもとづき修正再表示しています。修正純利益の調整の詳細についてはP.22を参照。  
\*6 ESRは、経済価値ベースのリスク量に対する資本 (= 経済価値ベースのエンベディット・バリュー + フリクショナル・コスト) の比率。数値は各四半期末時点。

当期純利益から修正純利益への調整表

(億円)

	FY23				FY24			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
税引前当期純利益（営業利益） <sup>*1</sup>	545	157	773	261	300	657		
税引後当期純利益	385	107	550	198	215	467		
SFGI関連調整項目	-	-	-	-	-	-		
ソニー生命関連調整項目	△139	144	△319	110	△14	△181		
投資損益のうち変額保険関連損益 <sup>*2</sup> ・為替差額 （除くヘッジコスト相当分等 <sup>*3</sup> ）	△4,512	1,140	△908	△4,541	△2,181	2,997		
保険金融損益のうち変額保険関連損益 <sup>*4</sup> ・為替差額	4,478	△933	464	4,581	2,168	△3,246		
有価証券の売却損益	△160	△6	△1	113	△6	△3		
その他一過性の損益	-	-	-	-	-	-		
上記に係る税効果	54	△56	125	△43	6	71		
ソニー損保関連調整項目	-	-	-	-	-	-		
ソニー銀行関連調整項目	-	-	-	△147	-	-		
ソニーペイメントサービス株式譲渡関連益	-	-	-	△198	-	-		
上記に係る税効果	-	-	-	50	-	-		
その他子会社関連調整項目	-	-	-	-	-	-		
調整項目合計	△139	144	△319	△38	△14	△181		
税引後修正純利益	246	251	231	161	201	287		

\*1 金融分野においては営業外の金融収益・費用が発生しないため営業利益と税引前当期純利益が一致する。

\*2 変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの。

\*3 ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト。純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定（FVO指定）した債券から生じる当期の経過利息（期首金利に基づく）を含む。

\*4 変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動ならびに金利及びその他金融リスクの変動による影響。

# 調整後EBITDA調整表（2Q）

（億円）

	金融分野を除く連結ベース		ソニー連結	
	FY23.2Q	FY24.2Q	FY23.2Q	FY24.2Q
当社株主に帰属する四半期純利益	1,894	2,919	2,001	3,385
非支配持分に帰属する四半期純利益	9	13	11	13
法人所得税	516	913	564	1,104
金融収益・費用に計上される支払(受取)利息（純額）	21	16	21	16
金融収益・費用に計上される資本性金融商品の再評価損(益)（純額）	37	△163	37	△163
減価償却費・償却費※1	1,559	1,648	1,629	1,716
非経常的な損(益)※2	—	—	—	—
調整後EBITDA	4,037	5,347	4,264	6,072

調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。



# セグメント別調整後OIBDA 実績及び調整表 (2Q)

(億円)

	FY23.2Q				FY24.2Q				前年同期比
	営業利益	減価償却費・償却費※1	非経常的な損(益)※2	調整後OIBDA	営業利益	減価償却費・償却費※1	非経常的な損(益)※2	調整後OIBDA	調整後OIBDA
ゲーム&ネットワークサービス (G&NS)	489	342	—	831	1,388	301	—	1,690	+859
音楽	810	160	—	970	904	214	—	1,118	+147
映画	294	131	—	426	185	140	—	325	△100
エンタテインメント・テクノロジー&サービス (ET&S)	610	265	—	876	702	258	—	960	+84
イメージング&センシング・ソリューション (I&SS)	464	608	—	1,071	924	688	—	1,612	+541
その他	21	10	—	31	△65	13	—	△52	△83
全社（共通）及びセグメント間取引消去	△215	42	—	△172	△144	33	—	△111	+61
金融分野を除く連結ベース	2,473	1,559	—	4,033	3,893	1,648	—	5,542	+1,509
金融	157	70	—	227	657	68	—	725	+499
連結	2,630	1,629	—	4,259	4,551	1,716	—	6,267	+2,008

調整後OIBDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

調整後EBITDA調整表（1H）

(億円)

	金融分野を除く連結ベース		ソニー連結	
	FY23.1H	FY24.1H	FY23.1H	FY24.1H
当社株主に帰属する中間純利益	4,185	5,019	4,177	5,701
非支配持分に帰属する中間純利益	12	55	14	55
法人所得税	938	1,640	1,145	1,915
金融収益・費用に計上される支払(受取)利息（純額）	26	13	26	13
金融収益・費用に計上される資本性金融商品の再評価損(益)（純額）	△96	△472	△96	△472
減価償却費・償却費※1	2,981	3,336	3,120	3,472
非経常的な損(益)※2	△60	—	△60	—
調整後EBITDA	7,985	9,591	8,326	10,685

調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

# セグメント別調整後OIBDA 実績及び調整表（1H）

（億円）

	FY23.1H				FY24.1H				前年同期比
	営業利益	減価償却費・償却費※1	非経常的な損(益)※2	調整後OIBDA	営業利益	減価償却費・償却費※1	非経常的な損(益)※2	調整後OIBDA	調整後OIBDA
ゲーム&ネットワークサービス（G&NS）	981	609	－	1,589	2,041	606	－	<b>2,646</b>	+1,057
音楽	1,544	316	△60	1,800	1,763	432	－	<b>2,194</b>	+395
映画	454	256	－	710	298	305	－	<b>603</b>	△107
エンタテインメント・テクノロジー&サービス（ET&S）	1,167	518	－	1,684	1,342	519	－	<b>1,861</b>	+177
イメージング&センシング・ソリューション（I&SS）	591	1,181	－	1,772	1,291	1,380	－	<b>2,671</b>	+899
その他	45	22	－	68	△52	26	－	△26	△94
全社（共通）及びセグメント間取引消去	△323	80	－	△243	△297	68	－	△230	+14
金融分野を除く連結ベース	4,459	2,981	△60	7,379	6,385	3,336	－	<b>9,721</b>	+2,341
金融	702	139	－	841	957	136	－	<b>1,093</b>	+252
連結	5,161	3,120	△60	8,220	7,342	3,472	－	<b>10,814</b>	+2,594

調整後OIBDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

# 調整後EBITDA調整表

(億円)

	金融分野を除く 連結ベース	ソニー連結
	FY23	FY23
<b>当社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>8,966</b>	<b>9,706</b>
非支配持分に帰属する当期純利益	94	99
法人所得税	2,391	2,882
金融収益・費用に計上される支払(受取)利息（純額）	34	34
金融収益・費用に計上される資本性金融商品の再評価損(益)（純額）	△714	△714
減価償却費・償却費※1	6,154	6,431
非経常的な損(益)※2	△60	△258
<b>調整後EBITDA</b>	<b>16,865</b>	<b>18,180</b>

調整後EBITDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

# セグメント別調整後OIBDA 見通し

(億円)

	FY23				8月時点 FY24見通し	11月時点 FY24見通し	8月時点比 増減
	営業利益	減価償却費・ 償却費※1	非経常的な 損(益)※2	調整後 OIBDA	調整後OIBDA	調整後OIBDA	調整後OIBDA
ゲーム& ネットワークサービス (G&NS)	2,902	1,177	－	4,079	4,400	4,750	+350
音楽	3,017	731	△60	3,687	4,200	4,200	－
映画	1,177	535	－	1,712	1,750	1,700	△50
エンタテインメント・テクノロジー & サービス (ET&S)	1,874	1,017	－	2,891	2,900	2,900	－
イメージング & センシング・ソリューション (I&SS)	1,935	2,479	－	4,414	5,500	5,250	△250
その他、全社（共通）及び セグメント間取引消去	△552	215	－	△337	△550	△550	－
金融分野を除く連結ベース	10,353	6,154	△60	16,446	18,200	18,250	+50
金融	1,736	277	△198	1,815	1,700	1,700	－
連結	12,088	6,431	△258	18,261	19,900	19,950	+50

調整後OIBDA及び金融分野を除く連結ベースの数値はIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

※1 減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

※2 営業利益に含まれる項目。

# 注記

## 調整後OIBDA及び調整後EBITDAについて

調整後OIBDA（Operating Income Before Depreciation and Amortization）及び調整後EBITDA（Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization）は、以下の算式により計算されます。

調整後OIBDA = 営業利益 + 減価償却費・償却費※ - 当社が非経常的と判断する損益

調整後EBITDA = 当社株主に帰属する当期（四半期 / 中間）純利益 + 非支配持分に帰属する当期純利益 + 法人所得税 + 金融収益・金融費用に計上される支払利息（純額）  
- 金融収益・金融費用に計上される資本性金融商品の再評価益（純額） + 減価償却費・償却費※ - 当社が非経常的と判断する損益

※ 上記の算式において、減価償却費・償却費には、コンテンツ資産に含まれる繰延映画製作費、テレビ放映権ならびに自社制作のゲームコンテンツ及び原盤制作費の償却費を含んでいません。

調整後OIBDA及び調整後EBITDAはIFRSに則った開示ではありませんが、ソニーは、これらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。調整後OIBDA及び調整後EBITDAはIFRSに則って開示されるソニーの経営成績を代替するものではなく、追加的なものとしてご参照ください。

## 前年度（前年同期）の為替レートを適用した場合の売上高の状況、及び為替変動による影響額について

前年度（前年同期）の為替レートを適用した場合の売上高の状況は、当年度（当四半期 / 当中間連結会計期間）の現地通貨建て月別売上高に対し、前年度（前年同期）の月次平均レートを適用して算出しています。音楽分野のSony Music Entertainment（以下「SME」）及びSony Music Publishing LLC（以下「SMP」）、ならびに映画分野については、米ドルベースで集計した上で、前年度（前年同期）の月次平均米ドル円レートを適用した金額を算出しています。

映画分野の業績の状況は、米国を拠点とするSony Pictures Entertainment Inc.（以下「SPE」）が、全世界にある子会社の業績を米ドルベースで連結していることから、米ドルベースで記載しています。

為替変動による影響額は、売上高については前年度（前年同期）と当年度（当四半期 / 当中間連結会計期間）における平均為替レートの変動を主要な取引通貨建て売上高に適用して算出し、営業損益についてはこの売上高への為替変動による影響額から、同様の方法で算出した売上原価ならびに販売費及び一般管理費への為替変動による影響額を差し引いて算出しています。I&SS分野では独自に為替ヘッジ取引を実施しており、売上高及び営業損益への為替変動による影響額に同取引の影響が含まれています。

これらの情報はIFRSに則って開示されるソニーの連結財務諸表及び要約四半期（中間）連結財務諸表を代替するものではありません。しかしながら、これらの開示は、投資家の皆様にソニーの営業概況をご理解いただくための有益な分析情報と考えています。

## 音楽分野、映画分野、金融分野の業績についての注記

音楽分野の業績には、日本の(株)ソニー・ミュージックエンタテインメントの円ベースでの業績、ならびにその他全世界にある子会社の業績を米ドルベースで連結している、SME及びSMPの円換算後の業績が含まれています。

映画分野の業績は、全世界にある子会社の業績を米ドルベースで連結しているSPEの円換算後の業績です。ソニーはSPEの業績を米ドルで分析しているため、一部の記述については「米ドルベース」と特記してあります。

金融分野には、SFGI及びSFGIの連結子会社であるソニー生命保険(株)、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)等の業績が含まれています。金融分野に記載されている業績は、SFGI及びその連結子会社が日本の会計基準に則って個別に開示している業績とは異なります。

# 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、ソニーの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭又は書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営陣の仮定、決定ならびに判断にもとづいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にソニーが将来の見通しを見直して改訂するとは限りません。ソニーはそのような義務を負いません。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- (1) ソニーが製品品質を維持し、その製品及びサービスについて顧客満足を維持できること
- (2) 激しい価格競争、継続的な新製品や新サービスの導入、急速な技術革新、ならびに主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい市場競争の中で、十分なコスト削減を達成しつつ顧客に受け入れられる製品やサービス（イメージセンサー、ゲーム及びネットワークのプラットフォーム、スマートフォンならびにテレビを含む）をソニーが設計・開発し続けていく能力
- (3) ソニーがハードウェア、ソフトウェア及びコンテンツの融合戦略を成功させられること、新しい技術や配信プラットフォームを考慮に入れた販売戦略を立案し遂行できること
- (4) ソニーと他社との買収、合併、投資、資本的支出、構造改革その他戦略的施策の成否を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）ソニーの戦略及びその実行の効果
- (5) ソニーや外部の供給業者、サービスプロバイダやビジネスパートナーが事業を営む市場における法規制及び政策の変化（課税、及び消費者の関心が高まっている企業の社会的責任に関連するものを含む）
- (6) ソニーが継続的に、大きな成長可能性を持つ製品、サービス、及び市場動向を見極め、研究開発に十分な資源を投入し、投資及び資本的支出の優先順位を正しくつけて行い、技術開発や生産能力のために必要なものも含め、これらの投資及び資本的支出を回収することができること
- (7) ソニーの製品及びサービスに使用される部品、ソフトウェア、ネットワークサービス等の調達、ソニーの製品の製造、マーケティング及び販売、ならびにその他ソニーの各種事業活動における外部ビジネスパートナーへの依存
- (8) ソニーの事業領域を取り巻くグローバルな経済・政治情勢、特に消費動向
- (9) 国際金融市場における深刻かつ不安定な混乱状況や格付け低下の状況下においても、ソニーが事業運営及び流動性の必要条件を充足させられること
- (10) ソニーが、需要を予測し、適切な調達及び在庫管理ができること
- (11) 為替レート、特にソニーが極めて大きな売上や生産コストを計上し、又は資産・負債及び業績を表示する際に使用する米ドル、ユーロ又はその他の通貨と円との為替レート
- (12) ソニーが、高い能力を持った人材を採用、確保できるとともに、それらの人材と良好な関係を維持できること
- (13) ソニーが、知的財産の不正利用や窃取を防止し、知的財産に関するライセンス取得や更新を行い、第三者が保有する知的財産をソニーの製品やサービスが侵害しているという主張から防御できること
- (14) 金利の変動及び株式・債券市場における好ましくない状況や動向（市場の変動又はボラティリティを含む）が金融分野の収入及び営業利益に与える悪影響
- (15) 生命保険など金融商品における顧客需要の変化、及び金融分野における適切なアセット・ライアビリティ・マネージメント遂行の成否
- (16) 大規模な災害、紛争、感染症などに関するリスク
- (17) ソニーあるいは外部のサービスプロバイダやビジネスパートナーがサイバーセキュリティに関するリスク（ソニーのビジネス情報や従業員や顧客の個人を特定できる情報への不正なアクセスや事業活動の混乱、財務上の損失の発生を含む）を予測・管理できること
- (18) 係争中又は将来発生しうる法的手続又は行政手続の結果

ただし、業績に不利な影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。ウクライナ・ロシア情勢及び中東情勢に関する変化は、上記のリスク及び不確実な要素の多くに悪影響を与える可能性があります。重要なリスク及び不確実な要素については、ソニーの最新の有価証券報告書（その後に提出される半期報告書を含む）又は米国証券取引委員会に提出された最新の年次報告書（Form 20-F）も併せてご参照ください。